

## (第4章～第6章)

表紙	第4章 産業界のITS動向	第5章 学界のITS動向	第6章 世界のITS動向
 <p>2007年版</p>	<p>端末機器（カーナビゲーションやETC 車載器、VICS 端末等）のITS 産業規模や、端末機器以外の自動車産業、電子通信産業、鉄道、船舶、航空分野、についても可能な限り統計データから見てくるITS産業について掲載した。端末機器の普及に欠かせないインフラ整備の統計データも掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.産業界の取り組み</li> <li>3.産業分野における今後のITSの拡大</li> </ol>	<p>大学におけるITS 先端技術を分野別に分類し、この視点から具体的内容を考察し掲載した。さらに、大学のITS研究の具体的事例や大学のITS 研究がITS に果たす役割について掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.ITS研究開発技術分野</li> <li>3.大学でのITS研究動向</li> <li>4.大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>日米欧3 極のITS 動向の概観、欧州、米国の代表的ITS プロジェクト、アジア太平洋地域の各国/ 地域のITS の状況等、最新のITS 国際動向をまとめて掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧米のITS動向</li> <li>3.アジアのITS動向</li> </ol>
 <p>2008年版</p>	<p>2007年版の掲載内容に加え、インフラの公的整備予算を掲載した。また、陸海一貫物流に関連して海上交通のインテリジェント化についても掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概説</li> <li>2.産業界の取り組み</li> <li>3.産業分野における今後のITSの拡大</li> </ol>	<p>2007年版と同様の章立てで内容を充実させた。がITS に果たす役割について掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2. ITS研究開発技術分野</li> <li>3. 大学でのITS研究動向</li> <li>4. 大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>2007年版の掲載内容に加え、今後のITS動向や中国、韓国等アジア太平洋地域各国のITS の取り組みを掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧州・米国・中国におけるITSの取り組み</li> </ol>
 <p>2009年版</p>	<p>2008年版の掲載内容に、プローブ情報活用サービスの状況について追加掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.産業界の取り組み</li> <li>3.産業分野におけるプローブ情報活用の状況</li> <li>4.産業分野における今後のITSの拡大</li> </ol>	<p>2008年版の掲載内容に加え、「ITS シンポジウム」や「ITS 世界会議」における発表論文の分析や投稿論文の傾向分析、等について追加掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概説</li> <li>2. ITS研究開発技術分野</li> <li>3. 大学でのITS研究動向</li> <li>4. 大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>2008年版の掲載内容に加え、アジア太平洋地域各国のITSの取り組みを別節にし、写真、図表を添え掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概 1.概説</li> <li>2.欧 2.欧州・米国・中国におけるITSの取り組み</li> <li>3.ア 3.アジア太平洋地域の取り組み</li> </ol>
 <p>2010年版</p>	<p>2009年版の掲載内容に加え、情報ネットワーク関連（携帯電話の生産台数や販売金額の推移、カーシェアリング車両台数や会員数の推移）について追加掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概説</li> <li>2.産業界の取り組み</li> <li>3.産業分野におけるプローブ情報活用の状況</li> <li>4.産業分野における今後のITSの拡大</li> </ol>	<p>2009年版の掲載内容に加え、ITSに関連する先端技術・システム調査の概要、ITSジャーナルの国際展開、「日本ITS推フォーラム」での先端技術講演等について掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.ITS研究開発技術分野</li> <li>3.大学でのITS研究動向</li> <li>4.ITSジャーナルの国際展開</li> <li>5.大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>2009年版の内容と同様に掲載した。欧州、米国の取り組みを別節にした。中国も別節にし、「第11次五か年計画(2006年～2010年)」期間中の政府のITSプロジェクトの内容を掲載した。また、初めてロシアの取り組みを掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧州の取り組み</li> <li>3.中国の取り組み</li> <li>4.アジア太平洋地域の取り組み</li> </ol>
 <p>2011年版</p>	<p>2010年版の掲載内容に、世界的環境変化の意味付けを試みると共に、主要な産業分野の昨今の動向をまとめて追加掲載した。プローブ情報活用サービスの状況については、特集に掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概 1. 概説</li> <li>2.産 2.産業界の取り組み</li> <li>3.産 3.産業分野における今後のITSの拡大</li> </ol>	<p>2010年版と同様の章立てで内容を充実させた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.ITS研究開発技術分野</li> <li>3.大学でのITS研究動向</li> <li>4.ITSジャーナルの国際展開</li> <li>5.大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>2010年版と同様の章立てで内容を充実させた</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧州の取り組み</li> <li>3.米国の取り組み</li> <li>4.中国の取り組み</li> <li>5.アジア太平洋地域の取り組み</li> <li>6.その他の国々</li> </ol>
 <p>2012年版</p>	<p>社会・技術動向の変化を捉えて、広がりみせるITS を、大都市問題への包括的対応、次世代自動車やスマートグリッド、スマートフォンの応用を掲載した。ITS スポットやDSSS等、路車協調システムについても掲載した。従来通り、統計・データから見てくる産業界の動向も掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.産業界におけるITSの広がり</li> <li>3.産業界の取り組み</li> <li>4.産業分野におけるプローブ情報活用の状況</li> </ol>	<p>2011年の掲載内容に、大学のITS 研究の事例や要素技術の研究についてまとめて追加掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.ITS研究開発技術分野</li> <li>3.大学でのITS研究動向</li> <li>4.ITSジャーナルの国際展開</li> <li>5.大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>中国を、アジア太平洋地域の取り組みに移し掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧州の取り組み</li> <li>3.米国の取り組み</li> <li>4.アジア太平洋地域の取り組み</li> <li>5.その他の国々</li> </ol>
 <p>2013年版</p>	<p>従来の掲載内容に加え、常任理事企業と、「コミュニティプラザ」や「日本ITS推進フォーラム」で講演いただいた会員企業から、各企業の取り組み内容を執筆頂き掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.産業界におけるITSのひろがり</li> <li>3.産業界の取り組み</li> <li>4.産業分野におけるプローブ情報に関連する動き</li> </ol>	<p>2012年版と同様の章立てで内容を充実させた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.ITS研究開発技術分野</li> <li>3.大学でのITS研究動向</li> <li>4.ITSジャーナルの国際展開</li> <li>5.大学とのITS活動分野における連携・課題について</li> </ol>	<p>従来の掲載内容に加え、ミャンマーを新たに掲載した</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.概説</li> <li>2.欧州の取り組み</li> <li>3.米国の取り組み</li> <li>4.アジア太平洋地域の取り組み</li> <li>5.その他の国々</li> </ol>

# ITS年次レポートの遍歴

## (第4章～第6章)

表紙	第4章 産業界のITS動向	第5章 学界のITS動向	第6章 世界のITS動向
<b>2014年版</b> 	<p>会員企業19社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。加えて、ITS Japan コミュニティプラザで講演頂いた2つの公的研究機関に、将来の技術・産業を支える技術基盤の準備状況を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業・公的研究機関からの寄稿</li> </ol>	<p>IJIRへと投稿された論文から国(地域)、研究者の関心の対象、その推移などについて整理し掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>ITS世界会議—投稿論文の分析</li> <li>ITS世界会議—論文動向の分析</li> <li>論文数以外の参加に係る数値</li> <li>IJIR投稿論文の分析</li> </ol>	<p>米国のTRB年次総会への参加、欧州のHorizon 2020の調査を行ったので、その結果について掲載した。加えて、2014年9月に開催される「第21回ITS世界会議2014テロイト」の開催準備状況について掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>自動運転に関する国際動向</li> <li>第21回ITS世界会議テロイト2014準備状況</li> </ol>
<b>2015年版</b> 	<p>第3章 産業界のITSの取組み</p> <p>会員企業18社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業からの寄稿</li> </ol>	<p>第4章 学界のITSの取組み</p> <p>2014年度からのコンセプトに従い、2014年度に活動した、ITSシンポジウム、ITS Journalの取組みについて、詳しく掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第12回ITSシンポジウム2014</li> <li>ITSジャーナルの国際展開</li> </ol>	<p>第5章 ITS Japanの国際活動</p> <p>ITS Japanの国際活動について、基本方針と具体的な活動実績を紹介する章として、内容を見なおした。ITS世界会議、アジア太平洋地域ITSフォーラム、及び国際交流活動を柱に、具体的な活動を掲載した。これまでの海外動向については電子版にまとめた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国際活動方針</li> <li>第21回ITS世界会議テロイト2014開催概要</li> <li>第13回アジア太平洋地域ITSフォーラム オークランド2014開催概要</li> <li>国際交流活動</li> </ol>
<b>2016年版</b> 	<p>第3章 産業界のITSの取組み</p> <p>会員企業17社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業からの寄稿</li> </ol>	<p>第4章 学界のITSの取組み</p> <p>2015年度からのコンセプトに従い、2015年度に活動した、ITSシンポジウム、ITS Journalの取組みについて、詳しく掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第13回ITSシンポジウム2015</li> <li>ITSジャーナルの国際展開</li> </ol>	<p>第5章 ITS Japanの海外活動の広がり</p> <p>ITS Japanの国際活動について、基本方針と具体的な活動実績を紹介する章として、内容を見なおした。章題を「ITS Japanの海外活動の広がり」とし、従来のITS世界会議、アジア太平洋地域フォーラム、国際交流の報告に合わせ、自動運転と衛星測位にかんする動向も紹介している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国際活動方針</li> <li>第22回ITS世界会議ボルドー2015開催概要報告</li> <li>第14回アジア太平洋地域ITSフォーラム南京2015概要報告</li> <li>国際交流活動</li> <li>自動運転の世界動向</li> <li>欧州の衛星測位の動向</li> </ol>
<b>2017年版</b> 	<p>第3章 産業界のITSの取組み</p> <p>会員企業19社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業からの寄稿</li> </ol>	<p>第4章 学界のITSの取組み</p> <p>2015年度からのコンセプトに従い、2016年度に活動した、ITSシンポジウム、ITS Journalの取組みについて詳しく掲載。新たな企画としてITS Japan理事である3研究室の紹介を記載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第14回ITSシンポジウム2016</li> <li>ITSジャーナルの国際展開</li> <li>学界の研究内容の取組み紹介</li> </ol>	<p>第5章 ITS Japanの海外活動の広がり</p> <p>2016年度からのコンセプトに従い、ITS世界会議、アジア太平洋地域フォーラム、国際交流の報告に合わせ、日本のITSの海外展開支援にの幅を広げアフリカや西アジアの情報報告をしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国際活動方針</li> <li>第23回ITS世界会議メルボルン2016開催概要報告</li> <li>国際交流活動</li> </ol>
<b>2018年版</b> 	<p>第3章 産業界のITSの取組み</p> <p>会員企業13社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業からの寄稿</li> </ol>	<p>第4章 自動運転の動向</p> <p>これまでひとりで扱われていた自動運転も「乗用車、物流トラック、都市共有モビリティ」という3つのドメインに分割して語られるようになった。これらを踏まえ、国内動向を解説し、欧州と米国同については、3視点から解説紹介している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>国内動向</li> <li>欧州動向</li> <li>米国動向</li> <li>日本の国際連携活動</li> <li>自動車の高度化に伴う諸課題検討会の活動報告</li> <li>自動運転のまとめ</li> </ol>	<p>第5章 学界のITSの取組み</p> <p>2015年度からのコンセプトに従い、2017年度に活動した、ITSシンポジウム、ITS Journalの取組みについて詳しく掲載。ITS Japan賛助会員である5研究室の紹介を記載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第15回ITSシンポジウム2017</li> <li>ITSジャーナルの国際展開</li> <li>学界の研究内容の取組み紹介</li> </ol>
<b>2019年版</b> 	<p>第3章 産業界のITSの取組み</p> <p>会員企業9社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>はじめに</li> <li>会員企業からの寄稿</li> </ol>	<p>第4章 自動運転の動向</p> <p>自動運転がその用途に基づき、大きくオーナーカーと物流/移動サービスの2分類に分けて議論されるようになった。これらの最新の動向を紹介する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>オーナーカー(Privately Owned Vehicle)の自動運転車の動向</li> <li>物流/移動サービス用自動運転車の動向</li> <li>要素技術の動向</li> <li>制度と法規化の動向</li> <li>まとめ</li> </ol>	<p>第5章 学界のITSの取組み</p> <p>2015年度からのコンセプトに従い、2018年度に活動した、ITSシンポジウム、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、ITS Journalの取組みについて詳しく掲載。ITS Japan賛助会員である4研究室の紹介を記載した。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>第16回ITSシンポジウム2018</li> <li>ITS研究領域における大学間連携の進展と東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構の設立</li> <li>ITSジャーナルの国際展開</li> <li>学界の研究内容の取組み紹介</li> <li>第16回ITSシンポジウム2018プログラム</li> </ol>

# ITS年次レポートの遍歴

## (第4章～第6章)

2020年版	第3章 地域ITSの取組み	第4章 産業界のITSの取組み	第5章 自動運転の動向
 <p>日本のITS</p>	<p>「2030年のありたい姿」で描いた社会の実現に向けてスタートした、第3期中期計画に基づいた、地域の価値向上につながる「統合的移動サービスの実現」への実態を紹介している。</p>	<p>会員企業6社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p>	<p>これまでの協調領域の要素技術の研究活動から一歩進んだサービス実現に向けた活動に注力することとなった。これらの最新の動向を紹介する。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 第3期中期計画の実現に向けた地域ITS活動</li> <li>2. 2019年度地域の取組み整理、分析</li> <li>3. 今後に向けて</li> <li>4. 地域との交流</li> <li>5. ITS推進団体からの寄稿 ～各地域での2019年度の活動事例～</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>2. はじめに</li> <li>3. 会員企業からの寄稿</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動運転の実現化に向けた全体動向</li> <li>2. 様々な移動サービスの一手段</li> <li>3. 移動サービスの実証実験から実用化へ</li> <li>4. 各地の特徴的な情報</li> <li>5. 自動運転関連法令の改正について</li> <li>6. まとめ</li> </ol>
2021年版	第3章 産業界のITSの取組み	第4章 自動運転の動向	第5章 学界のITSの取組み
 <p>日本のITS</p>	<p>会員企業9社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p>	<p>これまでの協調領域の要素技術の研究活動から一歩進んだサービス実現に向けた活動に注力することとなった。これらの最新の動向を紹介する。</p>	<p>2015年度からのコンセプトに従い、2020年度に活動した、ITSシンポジウム、東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構、ITS Journalの取組みについて詳しく掲載。ITS Japan賛助会員である4研究室の紹介を記載した。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 会員企業からの寄稿</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 概要</li> <li>2. 自家用車</li> <li>3. 移動サービス</li> <li>4. 物流サービス(トラック隊列走行中心から最後の15メートル等幅広い物流の自動化に拡大)</li> <li>5. 制度と仕組み(法制度)</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学界の新たな動き</li> <li>2. 第18回ITSシンポジウム2020</li> <li>3. ITSジャーナルの国際展開</li> <li>4. 学界の研究内容の取組み紹介</li> <li>5. 自動運転関連法令の改正について</li> <li>6. 第18回ITSシンポジウム2020プログラム</li> </ol>
2022年版	第3章 産業界のITSの取組み	第4章 学界のITSの取組み	第5章 学界のITSの取組み
 <p>日本のITS</p>	<p>会員企業7社から、新たな領域に取組んでいる内容等具体的な取組み・活動の寄稿を掲載した。</p>	<p>革新的なイノベーションを産学連携で実現(社会実装)する活動を推進し、『技術確立』にとどまらず『社会課題の解決(社会実装)』をゴールにした学術研究を記載した。</p>	<p>ITS Japanの国際活動の実績について紹介する「国際活動」と欧州、北米、日本の3つの地域での自動運転の最新の動向を紹介する「自動運転の動向」に分けて記載した。</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 会員企業からの寄稿</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学界の動向とITS Japanの活動</li> <li>2. 第19回ITSシンポジウム2021</li> <li>3. International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJITS)の現在地とこれから</li> <li>4. 学界の研究内容の取組み紹介</li> <li>5. 第19回ITSシンポジウム2021プログラム</li> </ol>	<p>◆国際活動</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 国際活動の概要</li> <li>2. 第27回ITS世界会議2021ハンブルグ</li> <li>3. ITS AP フォーラム2021</li> <li>4. 国際交流やイベント開催他の活動</li> <li>5. 第28回ITS世界会議ロサンゼルス2022準備状況</li> </ol> <p>◆自動運転の動向</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 欧州の動向</li> <li>2. ドイツ改正道交法</li> <li>3. 米国の動向</li> <li>4. 日本の動向</li> </ol> <p>・コラム 国連WP1発表報告</p>
2023年版	第3章 産業界のITSの取組み	第4章 学界のITSの取組み	第5章 自動運転動向・活動
 <p>日本のITS</p>	<p>ITSへの関与レベルが大きく変化している業界の代表として活躍している企業の取組みを紹介することで、ITSを取り巻く企業・産業界の取組み動向を捉える一助としたい。</p>	<p>2022年度で20回を数えたITSシンポジウムの活動を振り返り、この20年の学界のITSの動向/今後の方向性とITSシンポジウムの価値について紹介する</p>	<p>ITS Japanでの自動運転に関する国内・海外動向の調査、および自動運転研究会での活動を報告する</p>
	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに</li> <li>2. 会員企業からの寄稿</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学界の動向とITSシンポジウムの連動性</li> <li>2. 第20回ITSシンポジウム2022</li> <li>3. International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJITS)の現在地とこれから</li> <li>4. 学界の研究内容の取組み紹介</li> <li>5. 第20回ITSシンポジウム2022プログラム</li> </ol> <p>・コラム 一般社団法人モビリティ・イノベーション・アライアンス</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 自動運転レベル4の実現に向けた国内・国際動向</li> <li>2. 自動運転研究会の活動</li> </ol>